



人吉一中 学校だより

Asazakura

校訓

理想は高く
心清らに

令和5年3月3日発行

本校の教育目標

自らに誇りを持ち、主体的に学び、考え、行動する生徒の育成

梅の花が咲き誇り、日によっては温かい風を感じる頃となりました。令和4年度も残り、1ヶ月となりました。3年生は先週後期選抜が終わり、卒業に向けての準備が着々と進んでいるところです。昨年度から、受検日程の変更によって、例年に比べて1週間早くなって3月5日(日)が卒業式になります。それが終われば、3週間足らずで、1・2年生も修了式を迎え、新しい学年へと進級する時期になります。

今週は、2日間に分けて3年生の4クラスに道徳の授業をしました。「生き方に学ぶ」と題してイエローハットの創業者「鍵山秀三郎さん」について、鍵山さんが会社設立当時から取り組んできた「掃除」について話を進めました。キーワードは「やり方」と「あり方」です。「やり方」は方法です。「どのようにやるか」に主眼が置かれています。「あり方」はそのやり方の根底にある目的や考え方、人としての生き方です。「やり方はもちろん大事だけど、その根底にある目的や願い(あり方)を大事にしてほしい」と話しました。どのクラスも一生懸命に授業を受けてくれて、授業している私も思わず力が入りました。

本年度の卒業生は、137人です。一人一人が自分の力で、これから先の未来を切り開き精一杯生きてくれることを心から願っています。(参考『私が一番受けたいココロの授業』ごま書房新社)

教えるということ

「教えるということとは、流れる水に字を書こうとするようなもので、成果の見えない中でも、書き続けようとする情熱が必要だ」と昔本で読んだことがあり、また日々の教育の中で成長を感じられなくても、熱意を持って積み重ねがやがて、子どもにも力になってくることを示した言葉なのかも知れません。日々の学校生活の中で見せる、子どもたちも成長を感じる時が、教師になつてよかったです。私思う瞬間でもありません。

私が中学生の頃、友達に数学の問題を尋ねられて、教えたとき、その友達が「ありがたう。よくわかったよ。」と喜んでくれました。私はそのことがきっかけで、数学の教師を志したのです。

中学生という多感な時期には、そんな些細な経験やちょっとした言葉が胸に突き刺さり、その後の生き方を決めてしまふこともあるのです。そんな時期の子どもの決意を教えることは、難しくもまた、やりがいのあふれる仕事だと、私は思っています。

教育に携わる者は、子どもが好きなことで、子どもの成長を自分のことのように喜べる人です。そして、教えるということとは、「子ども自身に自分のよさに気づかせること」「これからの人生に希望を持たせること」ではないかと思っています。学校で経験した様々な失敗や成功や喜びや悲しみ等は、きつと子どもたちをたぐいましくしてくれたいです。

本校での日々の営みが、子どもたちの夢の実現に繋がれば、これほどうれしいことはありません。本年度も様々な面で、ご協力を賜わり心から感謝申し上げます。

一中ウオッチング



2月7日（火）に2年生が立志式を行いました。講演ではJAXAの佐藤毅彦先生に、出会いと目の前のことに全力を尽くすことの大切さを話していただきました。第2部では、各クラスに分かれて、保護者の方を前に、生徒一人一人が立志の誓いとして進路への思いや、周りの人たちへの感謝の気持ちを発表しました。ご参加いただいた保護者の皆様、ご多用な中ありがとうございました。

2月22日（水）は、2年生の各学級が学級会を実施し、その様子を1年生が参観しました。本校では定期的に学級会の時間を設定し、身近な問題を話し合う活動を通して、自治の意識や主体的な態度の育成を図っています。2月14日には3年1組の学級会を耕心館で行い、2年生全クラスで参観して学ぶ取組も行いました。生徒の自分たちで考え、話し合っ進めていく力を高めたいと思っています。



2月22日（水）には1年生が人吉市の保健師の方をお迎えして「命の授業」を行いました。そこでは、どんなに自分たちの命が尊いものか、どれほどたくさんの人々に大切にされているのかについて話されました。終盤では、子育て中の澤井先生の子どもに対する思いや、子育て経験者の濱崎先生の出産時の思い出も語っていただきました。子どもたちは、真剣な表情で参加していました。

2月13日（月）に、来年度の各専門委員長の任命式を行いました。新執行部の会長からそれぞれの委員長に任命証が手渡されました。

任命証を手にした各委員長は引き締まった表情で、これから各専門委員会をリードしていこうという意気込みが感じられました。現在卒業式の練習が進んでいますが、その一方で、新年度への動きも始まっています。新しい一中を創りあげてくれることを期待しています。